

質問事項	質問の要旨
<p>1 高齢者等にやさしい町づくり事業について</p>	<p>本町における高齢化率は38.7%、災害公営住宅高齢化率は47.9%であり、居住地域については、復興事業により高台移転を余儀なくされ、なかんずく高齢者にとっては、日々の生活の中で、買い物等町内外交通手段に苦慮していることや、新しい地域でのコミュニティづくり事業の推進等が今後益々の大きな課題となります。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) 現在の町民バスの運行状況を踏まえ、その課題と住民からの要望の分析、今後の町内公共交通網の整備の具体策を示されたい。</p> <p>(2) 役場各課で実施している地域コミュニティ事業の内容とその担当課を示すとともに各課の連携事業や外郭団体（社会福祉協議会等）との協働事業の実態と実績を評価し、令和2年度以降の主な事業計画を示されたい。</p> <p>(3) 高齢者等を対象とした健康・体力づくり事業の内容と実績を示し、震災前に実施していた町長部局と教育委員会部局等との連携事業は現在どのような事業を展開していますか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 教育・学習振興策について</p>	<p>「人づくりはまちづくり」「まちづくりは人づくり」、人材育成、教育・学習環境の整備は、本町にとって、重要施策のひとつと考え、次の点について伺います。</p> <p>(1) 生涯学習センター図書室を図書館に昇格する時期はいつですか。</p> <p>また、現在の図書の蔵書数と令和2年度以降の蔵書計画及び女川町誌の完成時期を示すとともに、女川町の副読本等の郷土資料コーナーの設置予定はありますか。</p> <p>(2) 生涯学習事業として、町民のライフステージに応じた各年代における現在の事業概要を示し、老壮大学の復活時期も踏まえ、今後の具体の事業計画はどのように策定しますか。</p> <p>(3) 来年度、小中一貫校が開校しますが、児童・生徒の学力向上についての取り組み状況を示されたい。</p> <p>また、関連して、現在、週5日間授業ですが、土曜日半日授業の復活や放課後特別講習、季節講習などの導入はできませんか。</p> <p>(質問の相手：町長・教育長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>3 行政組織改革の在り方について</p>	<p>ここ数年、役場各課の統廃合が進み、行政組織のスリム化が図られました。</p> <p>課題としては、単純に二つの課を融合することではなく、役場窓口として町民各位の利便が実現されたのかを評価するとともに、庁議等でよく議論して改革することが肝要であると思いますので、次の点について伺います。</p> <p>(1) 税務会計課が創設されましたが、地方自治法第168条及び第170条の会計管理者の設置及び職務権限を勘案すると、会計事務のほとんどは会計管理者がつかさどり、税務会計課長は補助的役割を担っていることから、会計課は、従来のおり、単独が良いと考えますが、いかがか。</p> <p>(2) 国民健康保険事務、後期高齢者医療保険事務、介護保険事務が町民生活課、健康福祉課、税務会計課の三課にまたがっており、町民が不便を感じていることから、事務の組合せを機能的にしてはどうか。</p> <p>(3) 令和2年度は、行政組織機構改革はありますか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>